

令和4年度 国語総合 シラバス

科目名	国語総合	単位数	2 単位	対象 部・年次	1 ・ 2 ・ 3 部 2 年次
使用教材					
教科書等	『新編国語総合』（東京書籍）			副 教 材	『常用漢字クリア』（尚文出版）
学習の目標					
国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	・「未来を作る想像力」 ・生活体験発表作文の作成 ・詩「空をかついで」 ・ブックトーク ・「羅生門」（前半）		・作者の問題意識と解決策を読み取る。 ・必要な情報・知識を収集し、それを構成し文章にする力を養う。 ・他者の前で自分の作文を発表する力をつける。 ・詩の形式や用いられている比喩を理解し、詩の主題を読み取る。 ・お勧めの本を選び、本についての説明を考える。自分の発表について自己評価をする。他者の発表を聞き、評価をつける。 ・小説に描かれた 5 w 1 h を読みとる。下人の心理の変化を理解する。		
後期	・「羅生門」（後半） ・「芥川」（『伊勢物語』） ・和歌・百人一首 ・漢文「借虎威」 ・「里山物語」		・全体の構図を的確にとらえるとともに、物語の展開を理解する。 ・古文に慣れ親しみ、歌物語における和歌の役割を理解する。 ・和歌についての基本的な知識を身に付け、作品の情緒や作者の心情を理解する。カルタ大会に向けての練習をする。 ・句法を確認する。訓読をし、故事成語の成り立ちを理解する。 ・本文を読み、作者の問題意識を読み取る。環境破壊について考える。		
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語の向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	・授業への取り組み学習姿勢や態度など。 ・漢字小テスト ・授業ファイルの提出状況や内容	・授業中の発問に対する発表の内容 ・音読テスト・生活体験作文やブックトークの発表の内容	・授業プリントの書き取りやレポート、感想文などの、作成した文章の内容や書き取りテスト等	・学習活動における発言内容や態度 ・定期考査の中に「読む能力」を問う問題を出題する。	・定期考査の中に「知識・理解」を問う問題を出題する。 ・小テストの中に「知識・理解」を問う問題を出題する。 ・北高検定
配点 (pt)	200	100	100	100	500
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 授業中に読解の方法・問題を解く手順を紹介するので、それを実践してみること。 2. 出来るだけたくさんの文に親しみ、読む機会を持つこと。 3. 失敗をおそれず、発言の機会を得たときは積極的に挑戦すること。					

令和4年度 現代文 A シラバス

科目名	現代文 A	単位数	2 単位	対象 部・年次	1 ・ 2 ・ 3 部 3 年次
使用教材					
教科書等	『現代文 A』（第一学習社）			副 教 材	「常用漢字クリア」（尚文出版）
学習の目標					
国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	・「なぜ“コロンブスの卵”を描くのか」（随想） ・「デューク」（小説） ・生活体験発表		・文章表現や展開を的確に読み取り、主題を理解する。 ・日本語の豊かな表現を味わう。 ・自らの人生を振り返り、表現する力を養う。 ・自分の体験を生き生きと描写する表現力を身につける。 ・筆者の考えを的確に読み取る力をつける。		
後期	・ブックトーク ・「教え方で磨く日本語」 ・「相棒」（小説） ・犬も歩けば棒に当たる（評論）		・小説世界を味わい、自らの人生の体験と重ね合わせながら、人間や社会についての認識を深める。 ・文章の表現や展開を的確に読み取り、主題を理解する。 ・様々な心情描写、表現方法、登場人物の心の模様を読み取る力を養う。 ・表現や展開を的確に読み取り、主題を理解し、考えを深める。		
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	・提出物の提出状況及びその内容 ・漢字小テスト	・授業中の発表、質問の内容 ・生活体験作文やブックトークの発表や、相互評価の取り組み	・授業中における作文や感想文の内容 ・生活体験作文やブックトークの内容 ・授業における説明問題への取り組み	・学習活動における発言内容や態度 ・授業における読解問題への取り組み ・定期考査の中に「読む能力」を問う問題を出題する	・定期考査の中に「知識・理解」を問う問題を出題する ・北高検定
配点 (pt)	200	100	100	100	500
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. こつこつと漢字学習を続けていくことで入試、入社試験の学力が身に付けられる。 2. 出来るだけたくさんの文に親しみ、読む機会を持つ。 3. 失敗をおそれず、発言の機会を得たときは積極的に挑戦する。					

令和4年度 国語表現 シラバス

科目名	国語表現	単位数	2 単位	対象 部・年次	1・2・3 部 4 年次
使用教材					
教科書等	『国語表現』（大修館書店）			副教材	『常用漢字クリア』（尚文出版）
学習の目標					
国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	・ 整った文を書く ・ わかりやすい文を書く ・ 文章のつなぎ方 ・ 相手や場面に応じた会話 ・ 言葉遣い ・ 小論文 ・ 生活体験発表作文 ・ ブックトーク		・ 伝えたい内容を、相手に正確に伝えることができるようにする。 ・ 接続詞の使い方を学ぶことで、論理的な文章を構成する。 ・ 他者の発話の意図を汲み取り、正確な返答ができるようにする。 ・ 基本的な書き方を理解し、筋道を立てて短文を書けるようにする。 対立意見を想定し、より強い説得力を持つ文章が書けるようにする。 ・ 自己の主張や感動などが効果的に伝わるように、論理の構成や描写の仕方などを工夫して書き、発表する。 ・ お勧めの本を選び、本についての説明を考え、自分の発表について自己評価し、他者の発表を聞き、評価をつける		
	後期	・ 自己分析 ・ 討論 ・ キャッチコピーを考える ・ 百人一首		・ 自己を客観的に捉え、自己アピールをできるようにする。 ・ 自身の主張を的確に伝えるとともに、様々な意見を聞き、多角的な視点を身に付ける。 ・ 限られた文字数で、魅力的なキャッチコピーを考え、効果的な伝え方を身に付ける。 ・ 百人一首（和歌）に親しみ、校内カルタ大会の練習をする。	
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
趣旨	国語で伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりできる。	相手や目的、意図に応じて適切な表現で文章を書き、自分の考えをまとめることができる。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	・ 学習活動に対する学習姿勢や態度、発言内容 ・ 小テストへの取り組みや、提出物の提出状況	・ 授業中の発問に対する発表の内容 ・ 生活体験作文やブックトークの発表の内容や他者評価の内容	・ 授業中のレポート、感想文、生活体験作文の内容 ・ 定期考査の中に「書く能力」を問う問題を出題する。	・ 授業中の課題内容 ・ 定期考査の中に「読む能力」を問う問題を出題する。	・ 定期考査の中に「知識・理解」を問う問題を出題する ・ 北高検定
配点 (pt)	200	100	100	100	500
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 授業中の課題にしっかりと取り組むこと。 2. 漢字学習を続けることで、社会に出て困らない漢字力を養うこと。 3. 自分の考えや意見を伝えることができるように、発表に対して苦手意識を持たないようにすること。					

令和4年度 国語探究 シラバス

科目名	国語探究	単位数	3 単位	対象 部・年次	1・2 部 3・4 年次選択
使用教材					
教科書等	なし			副 教 材	
学習の目標					
大学・専門学校・就職の問題傾向にあわせた文の読み方が出来るようになる。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	・評論読解 ・小説読解 ・ことば、漢字の基礎教養 ・新聞記事		・評論文を使用して文章構成などに留意しながら問題を解く。 ・登場人物の心情を考えながら問題文を読む。 ・就職、進学に必要な基礎知識を身につける。 ・時事問題に触れながら、自分の意見を文章にする。		
後期	・評論読解 ・小説読解 ・社会問題プレゼンテーション ・ことば、漢字の基礎教養		・評論文を使用して文章構成などに留意しながら問題を解く。 ・登場人物の心情を考えながら問題文を読む。 ・身近な題材からテーマを選び、それについてプレゼンテーションする。 ・就職、進学に必要な基礎知識を身につける。		
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	読み取った内容を端的にまとめて書き表したり、自分の考えをまとめ、深めたりしている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	・授業中の態度 ・提出物の提出状況及びその内容	・話し合いやプレゼンテーションの態度 ・他の人の考えを聞く態度	・定期考査の中に「書く能力」を問う問題を出題する。 ・提出させる要約の内容	・評論、小説の読解	・定期考査及び小テストの中に「知識・理解」を問う問題を出題する。
配点 (pt)	2 0 0	1 0 0	1 0 0	1 0 0	5 0 0
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 授業中に問題を解く手順を説明するので、それを実践してみること。 2. 出来るだけたくさんの方に親しみ、読む機会を持つこと。 3. 失敗をおそれず、発言の機会を持ったときは積極的に挑戦すること。					